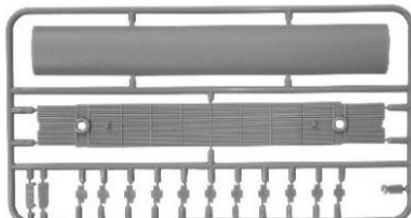
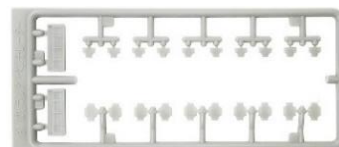


商品概要		着色済み エコノミーキット(客車シリーズ)	情報公開日 2020年9月7日	情報更新日	
商品番号	商品名		シリーズ	(税抜価格)	発売時期
11053	着色済み スハ32形(茶色)		着色済み エコノミーキット	¥1,200	2021年1月
11054	着色済み マニ36形(茶色)		着色済み エコノミーキット	¥1,200	2021年1月
11055	着色済み オハ35形丸屋根(茶色)		着色済み エコノミーキット	¥1,200	2021年1月
11056	着色済み オハ35形戦後型(半切妻・茶色)		着色済み エコノミーキット	¥1,200	2021年1月
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>No.11053 着色済み スハ32形(茶色)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>No.11054 着色済み マニ36形(茶色)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>No.11055 着色済み オハ35形丸屋根(茶色)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>★No.11056 着色済み オハ35形戦後型(半切妻・茶色)</p> </div> </div> <p>※2枚目に組立完成イメージの拡大写真があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●未塗装エコノミーキットシリーズを実車に即した色合いで成形し、塗装済みとします。 ●塗装の手間を省き、組み立てていただくことができます。 					
商品セット構成					
<ul style="list-style-type: none"> ・ボディ(茶色) ・屋根(ダークグレー)/床板(ダークグレー) ・ガーランドベンチレーター(グレー) 		<ul style="list-style-type: none"> ・塩ビ板(透明、クモリ) ・床下機器 ・幌 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト 	
※台車、車両マークは別売です。					
商品の特長					
<ul style="list-style-type: none"> ●未塗装エコノミーキットシリーズを実車に即した色合いで成形し、塗装済みとします。 ●ボディは茶色(GMカラー 2 ぶどう色2号近似色)成形色とし、塗装済みです。 ●屋根はダークグレー(GMカラー 35 ダークグレー近似色)成形色です。 ●屋根・床板ランナーに含まれるガーランドベンチレーターのほかにNo.70-5 ガーランドベンチレーターが付属します。 ●付属のガーランドベンチレーターはグレー(GMカラー 9 ねずみ色1号近似色)成形色です。 <p>※「車番」は別売の車両マークをご使用ください。</p>					
※模型化にあたり一部実車と異なる箇所がございます。予めご了承ください。					
別売対応品					
<ul style="list-style-type: none"> ・台車(No.5024 TR23) ・車両マーク(No.6310 客車 座席車(白) または No.6311 客車 郵便・荷物車(白)) ・<8051>ナックルカプラー(長・黒/20ヶ入) ・<8053>ナックルカプラー(中・黒/20ヶ入) ・<8055>ナックルカプラー(短・黒/20ヶ入) 					
その他					
※対象年齢15歳以上					

 茶色成形色・塗装イメージ
(ボディ)

 ダークグレー成形イメージ
(屋根・床板)

 グレー成形イメージ
(ガーランドベンチレーター)


このページの成形色と塗装イメージは過去の製品を使用しているため、今回発売する製品とは一部異なりますので予めご了承ください。

No.11053 着色済み スハ32形(茶色)



<車体色>
ぶどう色2号

<実車について>

スハ32形は17m級のオハ31系客車の台枠構造を変更し、20m級車体として設計・製造された鋼製客車です。初期に製造された車両は、二重屋根(ダブルルーフ)でしたが、1932年以降の新造車はすべて丸屋根に変更されました。製造当初はスハ32800形と称していましたが、1941年の称号改正後はスハ32形137以降を付番されています。製品は1932年以降に製造されたグループで、屋根は丸屋根で、車体側面のリベットの使用数が少なくなったのが特徴です。

<主な使用線区>

1959年以降の東北本線、磐越西線、常磐線、東海道本線、中央東線、御殿場線、山陽本線、北海道各線(室蘭本線、宗谷本線など)の普通列車に使用されました。

No.11054 着色済み マニ36形(茶色)



<車体色>
ぶどう色2号

<実車について>

マニ36形は老朽化した戦前製貨物車を置き換えるために余剰座席車を改造して登場したバラ積み用の貨物車です。ベースとなった車種の違いにより、台車形式や側面の窓形状・割り付けに違いがみられます。また、電気暖房装置を設備する車両には改造後の番号に2000が付加されています。

製品はスハ32形をベースに改造されたタイプで貨物扉間の窓が2枚、乗務員室の窓が400mm幅の狭窓が特徴です。

<主な使用線区>

1969年以降本州各地に配置され、各幹線の貨物専用列車に使用されました。

No.11055 着色済み オハ35形丸屋根(茶色)



<車体色>
ぶどう色2号

<実車について>

オハ35形丸屋根はスハ32形客車の改良型として1930年代後半より製造された20m級鋼製客車です。側窓は1000mmを標準とするように変更されています。

製品は1939年から1943年にかけて製造されたグループで、車体構造は出入上部が絞られた丸屋根構造をもち、台車はTR23を装着するのが特徴で、戦前型に分類されます。車番は1~581が該当します。

<主な使用線区>

1959年以降の東北本線、奥羽本線、磐越西線、常磐線、東海道本線、中央東線、御殿場線、山陽本線、紀勢本線、四国各線、北陸本線、九州各線、北海道各線(室蘭本線、宗谷本線など)の普通列車に使用されました。

No.11056 着色済み オハ35形戦後型(半切妻・茶色)



<車体色>
ぶどう色2号

※製品は1946年から1948年にかけて製造されたグループで、車体構造は車端部の屋根の曲げ加工を簡略化した折妻(半切妻)となりました。台車はコロ軸受のTR34に変更され、戦後型(後期)に分類されます。車番は700~1307が該当します。

<主な使用列車>

1959年以降の東北本線、奥羽本線、磐越西線、常磐線、東海道本線、中央東線、御殿場線、山陽本線、紀勢本線、四国各線、北陸本線、九州各線、北海道各線(室蘭本線、宗谷本線など)の普通列車に使用されました。